

令和7年度シニア選手権特別規則

東京国際ゴルフ倶楽部

日本ゴルフ協会ゴルフ規則と本競技では次の規則を適用する。

1. 競技者はホールとホールの間とグリーン上やその近くでの練習ストロークをしてはならない。本条の違反は次のホールに2打罰を付加する。
最終ホールでの違反はそのホールに2打罰を付加する。ハーフターン時の練習は、練習グリーン以外禁止とする。(午後の最初のホールに2打罰付加)
2. コースの境界(OB)は白杭をもって標示する。特にNo. 1、No. 2、No. 7、No. 8、No. 15、No. 18のいずれも右側で白杭の区域を越えた球と、No. 3右側、No. 11左側の白杭の線を越えた球はOBとする。また修理地は白線または青杭をもって標示する。
3. No. 12ホールのティーショットは飛距離(キャリー)200ヤード以内で打たなければならない。
4. 電磁カート道路の軌道は全幅をもってカート道路とみなし、球がこのカート道路上にある場合、あるいはスタンスがかかる場合は、ホールに近付かず球の止まっている箇所に最も近い地点を設定し、その地点から1クラブレンジ以内にドロップしなければならない。本条の違反は、2打罰を付加する。
5. 樹木の支柱、埋木、金網、給排水施設(U字溝を含む)は、規則第16条の1によって処置しうる動かせない障害物とする。但し、道路、通路の舗装していない側面はその限りではない。
6. 球が空中に張られた動力線やケーブル、電話線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、罰なしに再プレーしなければならない。本条の違反は、2打罰を付加する。
7. 正当な理由のある場合を除き、プレー終了後、前行組との間隔を25分以上空けた場合は、その組全員に2打罰を付加する。

競技方法

1. 予選・決勝通算36ホールストロークプレー競技とする。
2. 予選は18ホールストロークプレーとし、予選通過は上位30位タイまでとする。
3. 決勝は18ホールストロークプレーとする。
4. 1位タイの場合はNo.1からのサドンデスによるプレーオフとする。
2位～5位タイの場合は年長順とする。

注意事項

1. スタート時刻30分前にフロントにて受付を済ませ、10分前に必ず所定のティグランドに到着して下さい。
2. プレーは常に遅延しないようにして下さい。
3. パー3ホールに於いて1組以上詰まった場合、全員がグリーンオンしたら後続組を打たせて下さい。
5. 決勝競技に出場できない場合は、スコア提出の際必ず申し出て下さい。
6. 表彰式にご参加の場合は、上着を着用願います。
7. 規則変更があった場合は当日掲示します。
8. 予選の打球練習場は、24球を限度とする。

令和7年9月21日 競技委員長